

丹沢のまもり

Enjoy safe mountain climbing.

令和 8 年 夏 号
神奈川県秦野警察署
山岳救助隊発行

令和 8 年上半期の山岳遭難事故発生状況

発生件数 13 件 (前年同時期比 - 8 件)

遭難者数 13 名 (前年同時期比 - 9 人)

死亡事故 0 件 (前年同時期比 ± 0 件)

※令和 8 年 6 月末日までの暫定値

今年上半期は、前年同時期比で発生件数及び遭難者数が大幅に減少し、死亡事故の発生もありませんでした。

事故態様で最も多かったものは、転倒で 6 件でした。

事故発生場所は、大倉尾根 6 件、鍋割山稜 4 件でした。

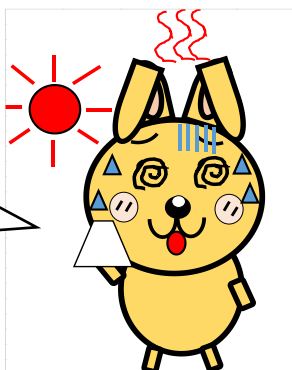


熱中症予防対策に多めの水分を

夏季は熱中症による山岳遭難事故が多発する傾向にあり、その原因の多くが、持参する水分が少ないことによるものです。

水分は少なくとも 2 リットル以上、種類はスポーツドリンクや経口補水液を用意し、塩分等を補給できる水分を持参するようにしましょう。

水分は最低でも
2 リットル以上
必要だね・・・



天気急変に注意!

夏季は天気が急変しやすく、大雨による登山道の崩壊、落雷の危険性が高まります。事前に天気予報を確認し、急変のおそれがある場合は、登山計画の見直しを検討しましょう。

事前確認
は大事。

